

令和5年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち 農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の1の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した6地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が4地区、総合的に低調と認められる地区が2地区との評価結果となった。
総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。
また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた1地区について、重点指導の結果を評価した。

3. 各地区の評価結果

7件(うち1地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
中四	高知県	北川村	北川村地域活性化協議会		●	●	● ■ ▼	▲					A	目標年である昨年度の実績で、「関係人口数」については、アイデアソンの実施を重ねていくことによって自費参加者を増やす試みであったが、コロナ渦の関係で対面による開催ができず、目標を大きく下回る結果となったが、その後、コロナ渦も一段落したことによって、目標を達成していることから、今後の指導の必要はなく、引き続き、地域の魅力を開拓・発進するとともに、村への関係人口創出の取組を展開し、地域活性化を推進する取組を進めていただきたい。 ※昨年度の重点指導対象地区(令和2年度採択)
中四	山口県	長門市	むかつ国で遊ぼう協議会			●	●	● ■					A	計画に位置付けられた目標はほぼ達成されており、実施体制も整備されていることから、総合的な評価はA評価とする。 唯一、宿坊への宿泊者数が目標に届いていないが、日帰り利用者が目標を大きく上回る実績を上げており、今後とも宿坊への宿泊を伴った交流人口の増加につながるような取組の推進に期待する。

中四	広島県	安芸高田市	三矢の訓え地域協議会				●	●	●				A	<p>計画に位置付けられた目標は全て達成されており、C判定もないことから、総合的評価はA評価とする。</p> <p>今後とも、里山・竹林等地域資源を活かしつつ、農村コミュニティの再生に向けて、地域内外の人材が様々な目的で出会い、相互に交流する機会を促す場である「会所」を市内各所で展開する取組の推進に期待する。</p>
中四	島根県	浜田市	ふるさと弥栄振興会					●	●	○	○		C	<p>計画に位置付けられた取組については全て目標を達成しているが、SNSへの投稿数を増やしたことによって閲覧数は大幅に伸びたものの地域への来訪者の増加にはつながらず、交流人口の増加について、目標を大きく下回ったことから、総合的評価はC評価とする。</p> <p>令和6年度は目標年となることから、令和5年度に得られた情報等をもとに、新たな体験交流商品の開発・販売等を通じた、持続可能な農林業と体験交流の促進等に期待する。</p>
中四	香川県	小豆島町	小豆島ふるさと村活性化協議会					●	●	○	○		A	<p>計画に位置付けられた目標はほぼ達成されており、実施体制も整備されていることから、総合的評価はA評価とする。</p> <p>今後とも、都市住民との交流等を創出しながら、地域全体の所得向上及び活性化を目指す取組の推進に期待する。</p>
中四	島根県	出雲市	ひらた地域ファンづくり推進協議会						●	○	○	○	C	<p>計画に位置付けられた取組については全て目標を達成しているが、HP開設が事業実施期間終了間近の2月になったことにより、閲覧者数が目標を大きく下回ったことから、総合的評価はC評価とする。</p> <p>今後とも地域の商工業者と農林漁業者が連携し、生産から加工、商品開発、販売まで一体的に取組み、SNSを活用した広報、販売戦略を行うことで、需要者ニーズを踏まえた地域製品の生産、開発と販路拡大を図る取組みの推進等に期待する。</p>
中四	島根県	安来市	いいな飯梨						●	○	○	○	A	<p>計画に位置付けられた目標はほぼ達成されており、C判定もないことから、総合的評価はA評価とする。</p> <p>今後とも、豊かな自然、歴史、観光、農業などの地域資源を活用した都市住民との交流及び地域活性化に資する地域活動を推進し、地域住民が将来に渡り住み続けるための魅力ある生活環境の整備推進に期待する。</p>

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)
ハード対策 ☆●交付対象年度(計画) ★●交付対象年度(実施済) ◇●目標年度(計画) ◆●目標年度(実施済)
重点指導 ▼●重点指導(通知) △●重点指導(結果報告予定) ▲●重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調 評価対象外●評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長: 駄田井 久(岡山大学准教授)

委員: 吉浦 彩乃(株式会社農協観光国際交流事業課課長補佐)、木村 京子(JA香川県五名女性部部长)

【令和●5年度評価委員会の開催概要】

評価委員会

- 1 日時: 令和6年8月6日(火) 10:00~12:00
- 2 場所: 岡山県岡山市(中国四国農政局)
- 3 議事概要
 - ① 令和5年度評価対象地区の評価方法について
本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。
 - ② 令和5年度評価対象地区の評価及び取組状況について
令和5年度に事業を実施した6区の、取組概要、評価案及び評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、質疑応答を行った。
また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の、重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。
- 4 主な意見
 - ・目標達成が著しく低かった地区においては、目標設定の妥当性の検証が必要。
 - ・地域への交流人口の増加を図るには、地域から発信する情報が関係者や来訪者、さらには地域住民のニーズを反映しているか検証する必要がある。
 - ・また、地域への交流人口の増加を図るには、きっかけ作りが重要となる。